

平成26年度
文化振興施策の主な事業

1 東国文化周知

背景・事業概要

- 古代東国の中心地として栄え、東日本最大の古墳大国である本県の歴史文化遺産について、県民に再認識してもらうとともに、「東国文化＝群馬」を全国に発信・定着させ、観光振興・イメージアップを推進します。
- 子どもたちに群馬のルーツを知ってもらうための副読本を作成し、学校現場や家庭学習での活用を進め、故郷への誇りと愛着を育みます。
- 上野三碑（山上碑、多胡碑、金井沢碑）の世界記憶遺産登録を地元高崎市とともに目指します。

具体的取り組み

【予算額7,246千円】

1 古代東国文化サミットの開催

地元市町村長と東国文化の展望を語り、地域の歴史文化遺産を県内外に発信する。

- ・開催地 太田市
- ・内容 毛の国ふるさと自慢、体験広場、古代創作劇「ぐんまの物語」上演

〔予算額 2,522千円〕

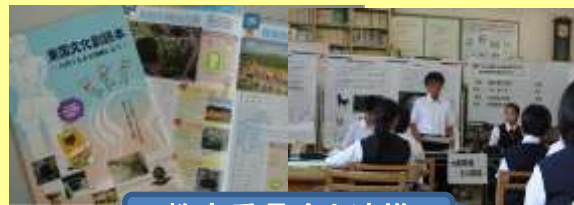


地元市町村と連携

2 東国文化副読本の活用推進

- ・副読本を中学一年生全員に配布
- ・教師用マニュアル書の配布、モデル授業・教師向け研修の実施
- ・夏休み自由研究及びフォトラリーの実施
- ・一般販売

〔予算額 2,538千円〕



教育委員会と連携

3 上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会の設置

地元高崎市、民間団体、研究者らと一体となり、登録に向けた具体的な検討を進める。

〔予算額 651千円〕



地元高崎市と連携

4 東国文化を巡るモデルツアーの実施

地域の歴史文化遺産を巡る解説付き日帰りバスツアーを実施する。

〔予算額 800千円〕

観光コースの発掘

5 東国文化国際シンポジウムの開催

東アジア（韓国、中国）と東国文化との関係を紐解くシンポジウムを開催する。

〔予算額 500千円〕

国際交流の促進

6 文化庁補助金活用事業

- ・東国文化を巡るトレジャーハンター
- ・文化遺産ガイドボランティア養成講座
- ・東国文化周知イベントの開催

東国文化の発信

2 ぐんま総合芸術推進

文化振興課

背景・事業概要

- 「文化振興指針」に則り、本県の文化芸術活動の推進を図るため、県内では公演機会が少ない総合芸術（オペラ等）について、県民参加で公演することにより、全県的な文化芸術振興を図るものです。
- 特に、参加者の高齢化や文化事業のマンネリ化を脱するため、「メディア芸術」や「子ども歌舞伎」に取り組むことにより、若年層の参加を促し、次代を担う人材の育成を図ります。

具体的取り組み

【予算額12,802千円】

1 総合芸術・舞台芸術の推進

① 創作劇「絹の国から」再公演

世界遺産登録をにらみ、「絹の国から」を富岡市ほかで公演する。
富岡公演：8月17日 かぶら文化ホール

② 改訂版「蝶々夫人」公演オーディション【新規】

本公演(27年度)へ向けてのオーディションを行う。

③ 子ども歌舞伎「勸進帳」制作準備【新規】

子ども歌舞伎「勸進帳」を制作する。本公演は29年度。

2 群響を活用した音楽に親しむための取組

- 「群響特別演奏会」や「夏休みコンサート」を開催し、子どもたちを含む県民に、より音楽に親しんでもらう。

3 メディア芸術の振興

- 「マンガ・アニメフェスタ」の内容を充実させるなど、メディア芸術の振興を図る。



「絹の国から」

3 県民芸術祭委託

背景・事業概要

- 県民芸術祭は、昭和56年に決議された「文化県群馬」宣言及び平成24年に制定した「群馬県文化基本条例」の理念に則り、多くの県民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう支援するとともに、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、個性豊かな県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典です。
- 本県の文化を支える担い手の育成や子どもたちの豊かな心を育む文化芸術活動を推進するため、県民音楽のひろばをはじめとする群響の演奏会や県民参加による演劇制作事業等を実施します。
- 伝統文化の保存・継承・発展、後継者育成と普及を図るため、ぐんま伝統歌舞伎の祭典や小中学校伝統芸能教室等の事業を実施します。
- 「群馬県文化基本条例」制定に伴う新たな取り組みとして、映画、漫画、アニメーションなどのメディア芸術の振興を図るため、メディア芸術祭（GUNMAマンガ・アニメフェスタ等）を実施します。

具体的取り組み

【予算額66,877千円】

- 群馬県文学賞など県民芸術祭事業を(公財)群馬県教育文化事業団に委託して実施します。
- 「群馬県文化振興指針」に則り、芸術文化事業推進(ぐんま総合芸術推進)事業と併せて、重点的に県民参加による総合芸術とメディア芸術の振興を図ります。

(内訳)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ・群馬県文学賞選奨 | ・参加団体会場費補助 |
| ・群馬県展(5部門) | ・芸術祭企画運営 |
| ・県民音楽のひろば | ・群響企画コンサート |
| ・小中学校伝統芸能教室 | ・グリーンコンサート |
| ・公開放送番組招聘 | ・ぐんま新人演奏会 |
| ・山崎種二記念特別賞 | ・群響特別演奏会 |
| ・「絹の国から」上演 | ・ぐんま伝統歌舞伎の祭典 |
| ・メディア芸術祭(GUNMAアニメ・マンガフェスタ等) | |

※下線の事業は、「ぐんま総合芸術推進」事業の一部として実施します。



ぐんま伝統歌舞伎の祭典



GUNMA マンガ・アニメフェスタ

4 群馬交響楽団支援

背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に「高崎市民オーケストラ」として設立された、地方オーケストラの草分けであり、これまでも定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民にオーケストラ鑑賞の機会を提供し、子どもたちの心の豊かさを育んできました。また、県外公演等を通じて、本県のイメージアップも図ってきました。
- 平成25年4月には公益財団法人に移行し、さらなる発展が期待されるとともに、一層の経営安定化が求められていることから、従前に引き続き、運営費に対する補助及び各種事業に対する支援を行います。

具体的取り組み

【予算額261,165千円】

1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (157,000千円)
- ②財務基盤強化 (7,500千円)
- ③退職金積立 (17,300千円)

2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (22,019千円)
- ④ // 会場使用料 (2,463千円)
- ⑤楽器セミナー (3,888千円)

3 各種演奏会への補助

県民への鑑賞機会の提供と、県外公演による県のイメージアップを支援

- ①県民の日コンサート (3,000千円)
- ②東京定期演奏会 (3,500千円)
- ③県外公演支援 (1,000千円)



群馬交響楽団



幼児移動音楽教室

5 歴史博物館の改修

背景・事業概要

- 平成23年8月に歴史博物館で発生した展示資料の水滴染み事故により、同年10月に文化庁から同館の公開承認施設が取り消されました。文化庁の許可なく重要文化財を展示することができなくなり、現在、企画展の開催を中止し、固定ケースを利用しない常設展示など限定的な展示活動を行っています。
- 平成25年度に策定した実施設計に基づき、公開承認施設の指針に適合するための建物改修と、改修に併せて必要となる展示工事を行います。工事実施前に収蔵品等を館外に移送し工事完了まで保管します。

具体的取り組み

【予算額318,000千円】

1 建物改修工事 … 2億680万円

- ①内容 断熱気密対策、エアタイトケース設置、収蔵庫の漏水対策、前室・空調設置、学習ホールの空調更新など
- ②工期 平成26年11月から平成27年10月

2 展示工事 … 619万2千円

- ①内容 現展示撤去、レイアウトの変更、東国古墳文化展示室設置、テーマ展示室設置、既存模型の一部更新など
- ②工期 平成26年12月から平成28年2月

3 博物館資料の移送・保管 … 1億500万8千円

- ①内容 改修期間中、博物館の収蔵資料等を倉庫等に移送・保管
- ②期間 平成26年5月から平成28年10月



改修後のレイアウトイメージ

6 文化施設の運営(1)

背景・事業概要

- 県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、7つの文化施設を運営しています。
- 平成25年度の美術館・博物館の入館者数はおよそ52万人、文化ホールの利用者数はおよそ36万人となっています。

具体的取り組み

【予算額1,022,275千円】

○美術館・博物館の運営について

県民の目線に立った運営を進め、魅力的な企画展を開催するとともに、教育普及事業の充実を図ります。

近代美術館

本県の中核的美術館として、近現代の作品を中心に優れた作品を紹介します。

(H26企画展示)

- ・「探幽3兄弟展－狩野探幽・尚信・安信－」
- ・「開館40周年記念 1974」
 - 第1部 1974年に生まれて
 - 第2部 1974年－戦後日本美術の転換点
- ・「群馬青年ビエンナーレ2015」

歴史博物館

原始から現代まで、郷土の歴史・文化についての系統的な展示を行います。

・考古、歴史、美術工芸、民俗の部門ごとのコレクション展示も行います。

※ 改修のため、9月29日から休館となります。

館林美術館

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、企画展やコレクション展を開催します。

- (H26企画展示)
- ・「陽光の大地－ブラジルの日系人画家たちと大岩オスカル」
 - ・「夏休み！いきもの図鑑」
 - ・「ペルシアのきらめき」



具体的取り組み

自然史博物館

地球の生き立ちから生物の進化、本県の自然の現状と変遷について、展示を行います。

(H26企画展示) ・「むし虫 ウォッチング2」 ・「闇夜の動物たち」
・「根も葉もない植物の話ー変わり者から見る植物の形ー(仮称)」

<ESCO事業>

平成25年度に更新した省エネ型空調設備等により、平成26年度から事業の運用を開始します。

土屋文明記念文学館

本県ゆかりの文学者を中心に、文学に関する様々な資料を展示します。

(H26企画展示)

・「文豪 田山花袋ー近代の小説を模索した日々ー」
・「雑誌王 野間清治(仮称)」
・「山村暮鳥生誕130周年記念展(仮称)」

文化ホールについて

優れた文化芸術の創造、交流、発信の拠点として積極的に活用され、その機能を十分に発揮できるよう、施設・設備の管理運営を指定管理者制度により行います。(予算額142,381千円)

○ 群馬県民会館 (ベシア文化ホール)

指定管理者 : 群馬県民会館管理共同事業体
期 間 : 平成23年度~27年度

○ 自然史博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)

指定管理者 : 富岡市
期 間 : 平成26年度~28年度



8 上毛かるた活用事業

背景・事業概要

- 群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。
- 具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるた及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の発行並びに有償頒布を行います。

具体的取り組み

【予算額5,292千円】

1 上毛かるたの発行(予算額4,104千円)

平成25年10月28日、群馬県民の日に権利譲渡を受けた上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ、広く県民に知ってもらえるよう努めます。
H26年度は、上毛かるた10,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。

2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の発行(予算額1,188千円)

上毛かるた44枚の絵札で取り上げられた事象を分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況やその事象にまつわる現在の姿等を紹介する副読本を、引き続き発行します。
H26年度は、副読本5,000部を発行し、県内外の書店に配本します。

3 ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の発行

上毛かるた44枚の各絵札で取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介とあわせて観光PRに活用するガイドマップを、引き続き発行します。(県内外の書店に配本)



上毛かるた



副読本



ガイドマップ

9 文化づくり支援事業

背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- 市町村、NPO法人、民間団体が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価と、事業のコーディネートを行います。

具体的取り組み

【予算額10,972千円】

1 「群馬の文化」支援事業補助金（予算額10,000千円）※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	50万円
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	20万円
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興に繋がる事業を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)	250万円



上:絵手紙かるた作成(次世代育成事業)
下:お月見会の開催(文化力向上事業)

2 文化づくり支援事業評価委員会（予算額972千円）

第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。また、採択した事業に対する助言等のコーディネートを行うなど、継続的な支援を実施します。

10 伝統文化継承事業

背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

具体的取り組み

【予算額9,429千円】

1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,102千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	300千円	4件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	30件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	4件



上：獅子舞用太鼓の修繕(伝統文化継承活動)
下：祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

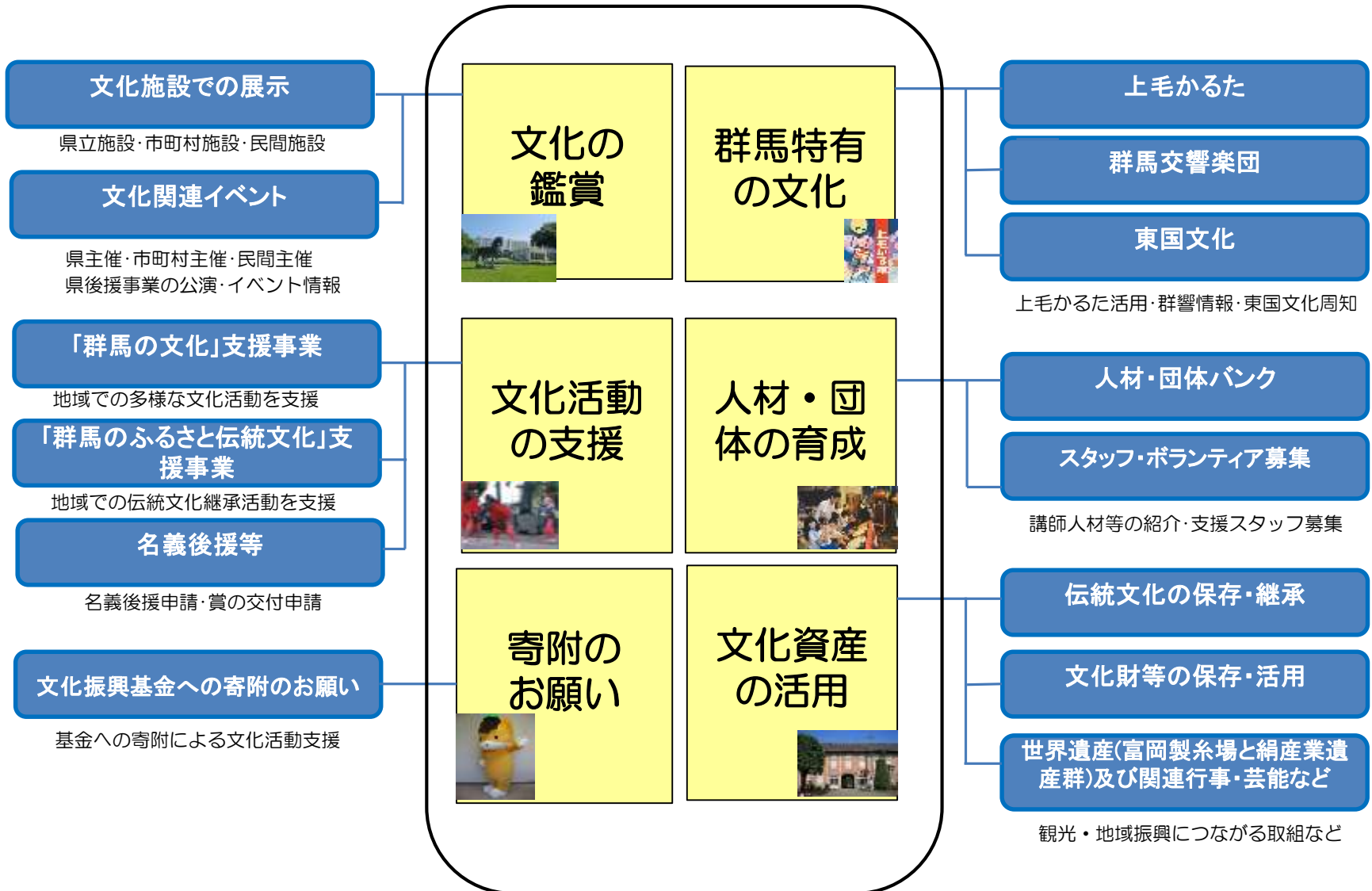
2 伝統文化継承事業委託（予算額1,327千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営 ②伝統文化継承委員会 ③県内伝統文化の調査 ④伝統文化継承モデル事業の実施

今後の取り組み

ポータルサイト「ぐんまの文化振興」(仮称)のイメージ



※本県の文化情報をまとめた入り口(トップページ)として活用

「東国文化」周知事業ねらいの3柱 「人づくり」「地域力強化」「イメージアップ」

「学び」の広がり



「活用」のモデル



「周知」のイベント



「発信」のツール



「追い風」を生かす

NHK大河舞台

金井東裏遺跡
「甲装着人骨」

世界遺産登録

「上野三碑」
世界記憶遺産

県内観光の隆盛

実施事業の
再構築・重点化

課題への
挑戦

大人への学
びを広げる

民間協働で
モデル開発

周知イベント
継続・拡大

情報発信の
デザイン化

県民への周知で「実感」「成果」につなげることが課題
郷土への「誇り」と「愛着」、地域コミュニティの「再生」と「強化」
ぐんまの魅力「再発見」、そして「活用」